

“八重”オリエンタルは、既存品種の面積減少を補完する形で増加傾向にあり、八重であればなんでも売れるような世界需要の底堅さに、球根生産者も自信をもっている印象です。

弊社試験ハウスにあるオリエンタルの内、1/3強が八重になっていますが、品種数だけで言えば、今後シングルと八重が半々になる日も遠くなくさそうです。

現在、オランダの球根生産者は23年産の不作や水害による被害から経済的に新品種導入の意欲があまりなく、又、上記②③のような外部環境で、“無花粉”を含むシングルオリエンタルのライセンス購入に興味を示しません。

一旦、育種会社が独自に球根生産を進めながらマーケティングを行い、目途が付いた段階でロイヤリティ型で球根生産者に引き継ぐ形が求められています。



#### ⑤ 6月のゆりの展示会（6月20.21.22日）

コロナ下のオンライン開催のあと現地開催を再開した2022年は「切花生産側」をテーマに、出荷箱展示などで全国から生産者様が集まり、再会を演出しました。翌、2023年は「花を売る側」をテーマに、多くの花市場の方々にお集まりいただき、全国市場リリーアンバサダーの活動報告や、世界的なフラワーアレンジャー小松弘典さんの全面協力で八重を使ったデモンストレーションとアレンジメント教室を開催しました。

今年、2024年は「花を購入する側」がテーマで、一般消費者の方々と共に、百合の方向性や使い方の可能性を考えていきたいと思えます。我々の業界は、つい5.6年前まで、八重や無花粉の価値を表現できずにいました。弊社が10年以上前から無花粉に取り組む、世界に先駆けて日本がガラパゴス的な実績を積み上げることができたのは、ゆりフェスタで一般の方との交流があつての事です。固定観念を一旦懐に収め、“楽しむ”“感じる”“あらわす”“つながる”“着る”などご自由に、花瓶に挿して飾る以外の使い方も創造できれば、花はもっと活きますと思えます。

直前になってやっぱり行けそうだというお客様、弊社とお取引がなくても仕事で花や園芸に関わりのある方、関係者内覧会にお越しいただけたらと思えます。ぜひ参加お申込下さい。宜しくお願い致します。 以上